

術前化学療法後食道癌の至適病理学的 staging 分類に関する検討

1. 研究の対象

2000. 1-2018. 12 に食道癌に対して埼玉県立がんセンターで食道切除を施行した方

2. 研究目的・方法

本研究では化学療法施行後の食道癌切除症例において日本食道学会による staging と欧米のガイドライン (UICC) による staging の予後予測能を比較するとともに、現行の staging の改善点を提起し、さらなる予後予測能と治療成績の向上を目指すことを目的とします。

研究実施期間：2 年間

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

年齢、性別、手術日、腫瘍部位、治療前病期 (UICC-7 版)、治療前採血結果 (Alb, CRP, 腫瘍マーカー値, Hgb, 好中球数, リンパ球数)、手術情報 (術式、術後合併症、入院期間)、病理組織学的診断 (病期、化学療法効果、脈管侵襲の有無と程度、根治度)、死亡の有無、死因、再発の有無、再発までの期間、再発部位など

試料：

なし

4. 試料・情報の公開

研究責任者は研究計画書の変更及び研究の進捗に応じて適宜更新します。また、研究を終了したときは、遅滞なく当該研究の結果を報告致します。研究者は本研究の成果を病理、がん、消化器関連学会、論文等において発表することにより公表します。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室 780

埼玉県立がんセンター 消化器外科

電話 048-722-111 (PHS 5505)

菅原弘太郎

研究責任者：

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室 780

埼玉県立がんセンター 消化器外科

電話 048-722-111 (PHS 5504)

福田 俊

共同研究者：

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室 780

埼玉県立がんセンター 消化器外科

電話 048-722-111 (PHS 5505)

菅原弘太郎

-----以上